

大橋よしひさレポート 第61号

あなたと町の大きな架け橋に！

発行元：大橋よしひさ後援会

所在地：杉戸町内田 3-9-5 電話：34-7392

e-mail：yoshihisa.ohashi.sugito@hotmail.com



HP



facebook



ブログ



twitter

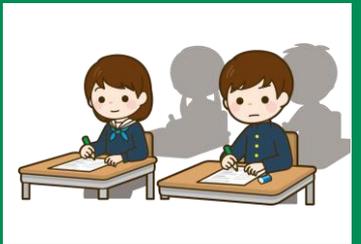


2019年7月に1163票を頂戴しスタートした3期目の任期も終わりに近づいています。コロナ禍ということもあり、活動が制限された4年間ではありましたが、私なりの活動をしてきました。今号では、この4年間の主な実績をお伝えいたします。

英語検定受験料の補助開始！！

現在の入試制度では、英検の資格を取っていると高校入試が有利になります。しかしながら、今までは英検の受験について何も補助制度がなかったため、受験料は全額本人負担、また準会場制度を活用しなかったため受験地が遠くになってしまうなどの欠点がありました。

そこで、英検受験料の補助と準会場化を提案。翌年度から予算が付けられ、受験料の補助制度がスタートしました。しかも年に1回町内の中学校で受験できるようになり、喜びの声が寄せられています。学習塾を営んでいる立場だからこその着眼点だった提案です。



大橋よしひさレポートによるコロナワクチン情報などの配信！！

今期も町民の関心ごとにスポットを当てて大橋よしひさレポートを発行してきました。

特にコロナワクチンに関しては49号から54号まで最新情報を私なりに分かりやすく町民の皆さまに伝えて参りました。ちなみに大橋よしひさレポートは毎号17,000部(新聞折込8,000部、ポスティング9,000部)を配布しています。また、大橋よしひさレポートを通じて皆さまの声を吸い上げ、当初予算要望書に載せ町政に届けました。その結果、特に交通安全部門では多くの事業が実現することができました。

アグリパークゆめすぎとの出張販売で地産地消の促進！！

アグリパークに行きたくても交通手段がなく行くことができないという声を聞きました。

地産地消を進めるためにも、買い物弱者を救うためにも、さらにはアグリパークの売り上げアップのためにもアグリパークゆめすぎとの出張販売を提案。出張販売用の車両を購入したことにより、カルスタや役場で、またイベント時などに出張販売を開始することができました。



自治体情報案内板(シティナビタ)の導入

役場第3庁舎入口に設置された自治体情報案内板(シティナビタ)。地図上で公共施設や避難場所の情報などをお知らせするなど同時に、広告スペースでは町民が必要とする情報として民間商業施設を地域情報として紹介しています。さらに町には月2万円の広告収入が入るなど、まさに一石三鳥ともいえるものです。



路面舗装の塗り直し、防犯灯、反射鏡設置による安全向上策の実施

皆さまから多くの要望をいただくのはこの分野です。今期も、担当課に伝え、安全向上に寄与してきました。(写真は一例です)



大橋よしひさが訴えてきた主なこと

一般質問などを通じて次のようなことを訴えてきました。今後も実現に向けて努力していきます！

防犯カメラの設置で安全を確保(2023年6月議会)

現在、町には30台弱の防犯カメラしか設置されていません。そのうちの約半数がアグリパークに設置されており、一般の路上や駅前などに防犯カメラは一台も設置されていません。安全に暮らす上で防犯カメラはもはや必要不可欠です。設置を求めています。



かかりつけ医の誘致で安心した医療体制(2022年12月議会)

窪田町長は中核病院の誘致を公約に掲げましたが、ベッド数などの制約から非現実的な政策と言わざるを得ません。それより誰もが気軽に受診可能なかかりつけ医(町医者)の誘致が現実的であり、重要なことです。

带状疱疹ワクチンの補助を(2022年9月議会)

80歳までに約3人に1人が発症すると言われる带状疱疹。その罹患者からは悲痛ともいえる声が聞かれます。効果が長持ちすると言われるワクチンは4万円以上かかり、気軽に接種することができません。ワクチン接種に助成をする自治体も増えてきており、町でも町民の健康を守るために助成制度を始めるべきだと考えます。



給食費の上乗せ補助でよりおいしい給食を(2023年3月議会)

給食費の無償化を掲げる声が多くなっています。私としては、給食費の無償化より、給食費の上乗せ補助でよりおいしい・安全な給食(オーガニック給食等)を提供するべきだと考えます。

子どもにはコストが高くても体にいいものを食べさせたい。それが親の気持ちではないでしょうか。食育という観点からも無償化より上乗せ補助でよりおいしい給食の提供をすべきだと考えます。



シルバー世代の就業機会の確保(2022年6月議会)

「働く」ということは人の役に立つということであり、生きがいを感じることができるものです。シルバー世代の就業を促進することで、心身ともに健康な第二の人生が送れるようなまちづくりをすすめます。

ゴミ出し支援の拡充を(2023年6月議会)

ゴミ出しをすることができない高齢者が増えています。一般質問で取り上げ、高齢者に対するゴミ出しに支援制度が開始されましたが、障がい者などにはまだ拡充されていません。積極的にこの輪を広げるべきです。

eスポーツでまちおこし(2023年6月議会)

ゲームに対してマイナスの先入観を持つ人はまだいますが、eスポーツは老若男女問わず行うことができるなど、今後注目を集めることとなります。先駆的にそのeスポーツでまちおこしをするべきです。

おしゃれカフェの誘致(2023年度予算編成要望書)

杉戸町にまだ足りないもの。それはくつろげるカフェです。若い人でも年配の方でも気軽に お茶を飲める空間が杉戸町には足りません。大手チェーン店の誘致やおしゃれカフェの誘致・創業支援をし、人が集まれる場を創出する必要があると考えます。



大橋よしひさ(42歳)プロフィール

【経歴】杉中卒、越谷北高校卒、明治大学経営学部卒業後、大手学習塾に就職。その後、地元の勉強に困った子を助きたいという思いから学習塾向学館創立(現在14年目)。2013年、杉戸町議会議員選挙当選(現在3期目)。議会運営委員会委員長、副議長など歴任。農ある町づくりを目指し、いちご農家に師事し、現在3年目。【地域の一員として】消防団員(第2分団)、げんきSUGI体操サポーター など

よしひサロン開催決定！ 日時:8月11日(金) 午前11時～正午 場所:カルスタすぎと集会室
杉戸町のこと、気軽にお話しあいましょう♪ ぜひお越しください♪